

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270201629		
法人名	有限会社 グループホームカナリアの家		
事業所名	有限会社 グループホームカナリアの家		
所在地	〒857-1151 長崎県佐世保市日宇町649番地9		
自己評価作成日	平成21年12月17日	評価結果市町村受理日	平成22年3月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://ngs-kaigo-kohyo.jp/index.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成22年1月14日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の人生の一部を共有出来る事に感謝し、一日いちにちを大切にしたいと考えている。行事では家族の参加も多い。「毎日を楽しむ」をモットーにし、何事も職員自ら楽しみ、マイナス面は「よい経験をして得をした」と前向きに考えるようにしている。日課計画に縛られることなく、その日の状態によりのおんびりとすごしたり、外出やレクリエーションを行っている。毎日の入所者の何気ない言葉の一つひとつを大事にしたいと考え、支援をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

全ての職員が「指示待ちではなく、自分で判断し行動できる」職員育成を目指し実践につながっている。同時に、「何故」を大事にしたサービスの提供にも努められており、職員と利用者が共同生活者として、足りないものを補いながら和気あいあいと生活されている。訪問した当日の昼食風景にホームの日常の姿が映し出されていた。配膳が終わるのを待たずに食べだされる利用者や果物を先に食べられる方などあっても、それを容認し見守りながら、タイミングを見計らって偏りのない摂取へと導かれており、その場の雰囲気や利用者の状況を大事にした和やかな食卓である。その人らしさに響いた支援を提供され、支え合う家族的雰囲気に包まれたホームである。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+Enter)です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型のサービス理念は具体的には作っていないが、運営推進会議などでは地域の方に説明している。	理念の他にスタッフの心構えを掲げられており、定期的に見直しでホームの現状に即した職員のサービス提供の指針となっている。【出会い】と【人生】をキーワードにホームと地域の距離が近づく運営に努められている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベントに参加したり、近隣の幼稚園児の来所、又ホーム便りを回覧板で回したり、近隣の店に張り出してもらっている。又散歩時等に進んで挨拶をしている。	地域向けの広報紙を発行されており、ホーム行事へのお誘いなどホームを地域へ開示した取り組みをされている。また、公民館での運営推進会議後にホームに立ち寄りてもらい利用者と一緒にティータイムの一時を過ごしてもらうなど交流の機会作りもされている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学や研修は進んで受け入れている。又口腔ケアの意義や方法についての教室(勉強会)を開いた。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	十分に説明し理解して頂いている。外部評価のアンケートでは、思っていることを記入して欲しいと毎回、手紙、口頭でお願いをしている。	町内会長や民生委員の要望に沿って、平成22年からの開催日を【偶数月の第1月曜日】と固定され、今年から2ヶ月に1回の開催を目指されており、民生委員の協力もあり地域との距離が縮まったことを成果として挙げられている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要のある場合に連絡をとり、実情を伝え、協力や関係を築いている。	運営推進会議の開催も一つのきっかけになっているのが、市との連携も進展の傾向にある。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	階段の柵の施錠や夜間のセンサーマット使用などやむを得ない場合は家族の了承を得ている。その他は入居者の行動を制限しないように努めている。	身体拘束をしないケアでやむを得ない場合に関しては【目的】を明確にし、利用者の状態や状況に照合しながら定期的な見直しを取り入れられている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修などに参加し、そこで得た知識を職員会議等でほかの職員に伝達している。又気づいた事など話し合っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などを通して学ぶ機会は得ているが、具体的に話し合ったり、活用したりしていない。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	その都度、文書で示し、口頭で説明し、了解を得ている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との会話にて相談、苦情等気軽に話していただけるよう雰囲気作りをしている。又玄関に匿名で意見を伝えられるようにアンケートとポストを設置しているが、外部者へ表せる機会についてはまだ設けていない。	訪問時に家族が感じたことや利用者が職員に直接伝えたことを介護計画や改善につなげられている。「玄関のプランターの花が枯れかけているので、母は花が好きなので水遣りをさせてください」の家族の一言が利用者の介護計画に挙げられ、実践されたことなどはその一例である。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が自由に自分の意見を言える雰囲気を作られている。	「否定しない」、「明るく」をモットーに明るい職場環境づくりを実践されており、職員も楽しめるグループホームを目指されている。また、現場職員の声を管理者や施設長に伝えるなどパイプ役を担える職員がいることを自負されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者が勤務状況を施設長に報告し、管理者、施設長で話あい評価される。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	必要な研修や、職員の希望する研修、講演に参加し、報告書、職員会議で報告し、情報を共有したり、個々の経験を生かし、助言をする事によって能力の向上に努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に参加したり、勉強会に参加をし、同業者との交流に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>常に日々利用者とのコミュニケーションを図り信頼関係を築いている。又個別になった時にコミュニケーションを取りながら、要望などの聞き取りを行っている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居の予約を受けた時、サービス開始の前、導入の段階で幾度も家族との会話の機会を作り、受け止める努力をしている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者、家族とは充分に話あい、職員を含めたカンファレンスも行い、対応している。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>まず、尊敬の念を持ち、時には娘や孫の立場になったりし、出来ることは自分でして頂き、出来ない部分はお手伝いをしている。</p>		
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族には現在の状況、日々の様子を報告し、家族参加でピクニック等を企画し、共に楽しんで頂き絆を深めてもらっている。その際、「家族と共に支えて行きたい」とお願いをしている。</p>		
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会等で遊びにこられた時には、「いつでも来られていいですよ」等、再度の来訪を楽しみにしていることを伝え、利用者と共に喜びを表している。</p>	<p>親族の冠婚葬祭など、近い人が多く集まれる場所への利用者の参加も、職員を一人付けて支援されている。家族の参加させたい気持ちはあっても、利用者のお世話を考えると諦めざるを得ない実情を察した気配り支援が、利用者の「今日は有難うございました」の挨拶の言葉に集約されている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士が話している場合はそっと見守り、レクリエーションやお手伝い等は孤立しないように努めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方(ターミナルでの死亡)の家族がこられたり、手紙や葉書を頂く事もある。その際は、現在の利用者と一緒におもいで話をしている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今はインフルエンザ等で外出の希望にはなかなか沿えないが、本人の意向を出来るだけ把握し検討に努めている。	利用者が心を開くことのできる職員や甘えられる職員にはコミュニケーションや触れ合いを大事にした支援で信頼関係の構築を指導されており、聴取された情報はサービスの提供に反映できるように努められ、プラス思考の対応を心がけている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前、入居時に家族から生活環境などを聞いて把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの性格、意向、過ごし方を把握し、また本人の意向を尊重している。出来る範囲でのお手伝い等をお願いし、現状の把握に努めている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族(本人を含め)主治医等と話あい、利用者にあった介護計画の作成に努めている。家族が来所の際に聞き取り、相談を行っている。	利用者担当職員が介護計画の案を作成し、全職員の判断を仰ぎ、介護計画の作成につなげられている。また、サービス担当者会議で関係者の指導や意見の聴取もされており、伝達ノートやケース記録も反映した取り組みをされている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	伝達ノート、個人ケースを使用し、職員間での情報の共有に努めている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じて職員間で話あい、個々の入居者に応じたサービスの提供を心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のイベントに参加したり、豊かな暮らしを楽しめるように)努めている。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望があれば、その都度、受診、往診ができる。	基本的に利用者の自立度が高い方は家族同行の受診支援をされている。専門科(眼科、皮膚科)に関しては連携病院やこれまでのかかりつけ医など状況に応じた支援をされている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	1階のドクター、看護師と連携が取れている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には、家族、ホーム職員、提携しているドクターと連絡を取り合っており、出来るだけ早い退院に努めている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族に現状を、ドクターの同席のもとに説明し理解して頂き、よく話あい、方針をきめている。	看取りに関する指針及び重度化した場合における対応にかかるホームの指針を明文化されており、ターミナルケアについても説明し同意書を取られている。また、該当時期にはその都度の話し合いの機会をもたれ、納得のいく支援につながっている。利用者が重篤な時などは家族と話し合うなどして、居室に泊まってもらい、利用者や家族の精神的ケアの提供にも努められている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の指導を受け、訓練を定期的に行っている。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員は定期的に訓練をうけてはいるが、地域との協力体制は十分とはいえない。	消防訓練として春は昼間、秋は夜間を想定して取り組んでいる。また、消防署からは避難等に関する指導を受けられており、消防・救助者が到着するまでの誘導・退避場所など確認されている。	更に、地域との協力体制作りの取り組み強化が期待される。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮しつつ、対応している。	利用者の羞恥心や人格などプライバシーを損ねない対応を心がけているが、業務や環境のマンネリ化で、配慮に欠ける可能性があることに気付かれている。	気づきをつなぎに変える取り組みとして、職員の意識付けや定期的な業務の振り返りに期待したい。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションやレクリエーション、トイレ誘導時等、自己決定や意思表示が表しやすいような言葉掛けをしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合で業務を進めることはなく、入居者のペースに合わせ、ゆとりのある生活環境をつくっている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりの個性を大切にし、尊重している。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りは利用者と共に行っており、好み、出来ること、出来ないことを把握し、調理に生かしている。	利用者と職員が会話を挟みながら一つのテーブルを囲み、利用者のペースで自由に食事されるのを職員が優しく見守り、タイミングを見計らって偏った摂食にならないように誘導されたり、食べやすいように食器の位置を変えるなどさりげない支援で、終始食卓が和やかな雰囲気を持てるよう努められている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量に合わせた盛り付けをし、水分の摂取量の少ない場合は、飲み易いものや、好みのもので対応している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食時後声掛けをし行っている。自分で出来る方は見守り、出来ない方は介助にて行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。尿意、便意のない方も出来るだけパットのみで対応し、トイレでの排泄を支援している。	日中は利用者のレベルに応じた声かけ誘導を駆使し、トイレでの排泄支援に努められている。外出時、和式トイレ使用の場合は、職員が利用者の後方から抱え込むようにして対応されており、場合によってはポータブルトイレを携帯されて外出先での排泄支援に努められている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品、繊維質の多い食材をバランスよく入れ、適度な運動や排泄時の姿勢やマッサージを行っている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	レベル的な問題もあり、難しい。開設から既に7年目となり、ホームの入浴パターンが当然となっている。新しい利用者も他の方が入らなければ入りたがらない。	本人の希望を重視した入浴支援をされており、「ゆっくり」「落ち着いて」「ストレスなく」をキーワードに介助され、誘導の仕方も「本人にとってどうなのか」を考慮した声かけで支援につながっている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を通して、個々に合わせた生活のリズム作りや、本人の意思を尊重し、過ごしやすいようにしてもらっている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々のケースに薬事表を入れており、服薬変更指示が出た場合は、伝達ノートに記載し、職員が把握できるようにしている。服薬時には、誤薬のないように声を出しての点呼で確認をしている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝いやレクリエーションを通じて、本人の能力に応じた事が出来る様に働きかけている。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	積極的に外出の機会を作っている。職員だけでは対応できない場合は家族の協力もえられる。しかし、レベル的な問題もあり、外出できる方と出来ない方との差がある。	レベルダウンで外出の機会が少ない方や夏場の外出の代替支援として、ベランダで食事やティータイムを楽しみながら寛いでいただけるよう支援されており、外気浴や気分転換にもつながる取り組みをされている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理はなかなか難しいが、家族、本人の希望もあり、所持し、外出の際には使用している。しかし、ほとんどの利用者は管理、所持共に難しい。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や電話の希望には、その都度対応をおこなっている。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	混乱を招きそうな鏡、窓にはレースのカーテンをしたり、一日を通しての光の変化に応じて、カーテンの開閉を行っている。季節に沿った手作りのカレンダーなどの工作も張り出している。	食卓テーブルを中心としてリビングの壁側のソファや畳の間、台所が囲むようなワンフロア設定は、ホーム生活の中心環境を【団欒】に求められた支援体制で、訪問した日のリビングからは利用者職員との穏やかな話し声や調理音、煮炊きの匂いが家庭的な雰囲気を醸し出している。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	必ずではないが、ソファに座り、その日の気分で気のあった方同士で語って過ごしている。場合によっては職員が入り、場をつなげるように支援をしている。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前から入居している方は当時新しいものでも、既に使い慣れたものとなり、新しく入居する場合は使い慣れたものを用意してもらっている。身体的に必要なものは家族との相談の上、用意している。	見せていただいた居室は、調度品の設置場所や装飾品から、利用者の趣味や身体状況などを窺い知ることができ、本人にとって違和感のない環境設定に努められている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立している方の場合、他の方の迷惑にならない程度であれば、本人のを意思を尊重している。レベル的に難しく、生かしてない方もいる。		